

事業概要：「沖縄県SDGs未来都市モデル事業」～地域課題解決型イノベーション創出を目指す「沖縄県SDGs
ステークホルダープラットフォーム（仮称）」の取組を通じた沖縄モデル形成～

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	179,332千円 (30,666千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・地域に点在する様々な資源やポテンシャルを有機的に繋げることで、地域課題を解決する仕組み（プラットフォーム）を形成し、新たなビジネスやイノベーションの創出を図る。 ・「脱炭素」や「SDGs」等に対応し、経済・社会・環境の統合的な課題解決を目指す企業・団体との連携促進を図り、沖縄の個性を活かした活力ある持続可能な社会を構築する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①おきなわSDGsプラットフォームによるニーズ・シーズのマッチング推進、スタートアップ等支援とのリレーション体制の自走化に向けた検証 ②地域課題の解決及びSDGs/ESG投資を促進する認証制度の創設・運営の拡充	おきなわSDGs認証制度の全体像 実績評価項目（第2号様式） 社会 (Social) 環境 (Environment) 地域課題への貢献 (Local) ガバナンス (Governance) 国際課題への貢献 (Global) 【現在までの取組を評価】 過去～現時点までの取組状況を評価する観点。 設定された評価項目に関して、申請者のこれまでの活動実績が一定水準を満たすことが求められる。 主要評価項目（第3号様式） SDGs OKINAWA 美ら島おきなわの 目指す未来 【今後の取組を評価】 今後予定している取組を評価する観点。 申請者が今後2年の間に実施する活動・取組について、沖縄の社会課題解決やSDGs推進への寄与という観点から評価する。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・有識者会議費 1,042千円、費用弁償 1,376千円、 ・プラットフォーム運営（委託費） 28,248千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①SDGsに取り組む県内企業等の登録・認証件数（+600件） ②おきなわSDGsプラットフォームにて創設されるプロジェクト数（+9件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（おきなわSDGsプラットフォーム） https://www.pref.okinawa.jp/ken-sei/shisaku/1014182/1014186.html （効果検証） https://www.pref.okinawa.jp/ken-sei/shisaku/1014211/1014216/index.html

事業概要：スタートアップ創業支援事業

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	188,107千円 (32,478千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・稼ぐ力の向上と地域産業の競争力強化 ・地域における新たなビジネスの創出 ・スタートアップの創出促進		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○スタートアップ創業相談窓口の設置・運営 スタートアップの創業促進のため、法人設立及び事業開始時に必要な各種申請等を支援する相談窓口を設置・運営 ○スタートアップの成長に向けたアクセラレーションプログラムの実施 創業支援を活用する等により創業したスタートアップに対し、成長支援を実施	<pre>graph TD OP[沖縄県] -- 業務委託 --> CW[相談窓口] OP -- 補助 --> FT[資金調達(創業期向け)] OP -- 業務委託 --> AC[アクセラレーション] CW -- 連携 --> FT FT -- 連携 --> AC CW --- ITO[一体的運営] FT --- ITO AC --- ITO ITO -- 創業期における総合支援 --> ES[起業家・スタートアップ]</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・相談窓口の設置（委託料） 17,478千円 ・アクセラレーションプログラムの実施（委託料） 15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①MVPの開発数（+25件） ②相談窓口における相談対応件数（+1,800件） ③アクセラレーションプログラム参加企業のうち、投資家やベンチャーキャピタルとのマッチング件数（+50件） ④スタートアップの創出数（+50件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.startups.okinawa/

申請者	沖縄県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	101,370千円 (35,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画において、「世界に開かれた活力ある豊かな社会」を目指すため、産学官金が有機的に連携し絶え間なくイノベーションが創出されるイノベーション・エコシステムの構築を図ることとしている。このため、県内大学等から輩出される研究成果を円滑に事業化へとつなげることを目的とし、県内において、産業動向や企業トレンド等を踏まえつつ、研究段階から技術移転までを一貫してサポートできるコーディネート機能の充実強化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・県内大学等の優れた研究成果を円滑に県内企業等へ技術移転するため、県内大学等の研究成果と企業とのマッチング等コーディネート活動を通して、技術移転の成功事例輩出に向けた活動を行う。 ・コーディネート等機能強化に資する人材育成 ・県内関係機関の連絡会議・協議会開催 ・関係機関等の意識醸成及び社会実装ノウハウの習得のための取り組み等		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・コーディネート機能の充実・強化を図る取り組み（委託料）34,830千円 ・委員会開催に係る諸経費（事務費）170千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+3人） ②県内大学からの技術移転件数（+20件） ③コーディネーターの養成人数（+4人） ④企業等とのマッチング件数（+50件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/shisaku/1014211/1014216/1037298.html

事業概要：外国人材受入支援事業

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,598千円 (19,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・人手不足が深刻化する中、企業への外国人材受入支援等を通して、外国人材が活躍できる環境整備を図る。 ・県内企業と県内留学生等とのマッチングイベントを実施することで、留学生等の県内就職及び定着を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業の外国人材受入にかかる取組を支援するため、相談窓口の設置、各種セミナー及び留学生とのマッチングイベントを開催する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 - 外国人材受入にかかる相談窓口を設置し、制度情報等を提供する（委託者人件費等 12,313千円） - 外国人材受入にかかる企業向けセミナー、県内就職促進及び定着率向上のための留学生・外国人労働者向けセミナーを開催する（委託者人件費等 2,415千円） - 県内企業と留学生とのマッチングイベントを開催する（委託者人件費等 4,472千円） 沖縄県 委託 受託業者 - 企業向け相談窓口を設置して、企業の課題解決、制度等の情報提供を図る - 企業向け、留学生向け、外国人労働者向けのセミナーを開催する - 県内企業と留学生のマッチングイベントを開催する 支援 県内企業 - 外国人雇用にかかる課題の解決 - 外国人材の雇用・定着 支援 留学生等 - 希望する県内企業に就職・定着できる		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのU I J ターン数（+950人） ②本事業により新たに外国人材を雇用した企業数（+90社） ③相談対応件数（+600件） ④セミナー参加企業数（+270社）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shisaku/1014211/1014216/index.html

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	200,000千円 (75,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	新たな観光・MICEコンテンツの創出・定着により観光の高付加価値化・観光収入の増加を図る。 ・自治体、企業等で構成する協議会設置により、県全体でノウハウ蓄積・人材育成を図る。 ・eスポーツの大会・イベントの誘致と普及拡大を切り口として、幅広い分野での社会課題解決を図る。 ・国家戦略特区等を活用した規制緩和検討に取り組むことにより、国際大会誘致競争力を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・自治体、企業等で構成する協議会の設置・運営を実施し、個々の取組事例や本事業の誘致案件の成果・課題等を共有する。 ・eスポーツイベント・大会の誘致に向け、主催者との交渉・ヒアリングやキーパーソン招聘、主催者向けPR資料の作成（PR資料作成のための県内調査含む）を実施。 ・規制緩和に係る国内外の事例調査、先行事例ヒアリング。 ・大会・イベント主催者に対する専門家派遣、プロモーションに対する助言等の伴走支援を実施。 ・集客予測困難、県外調達による主催コスト増等、開催決定の障壁を取り除くため、運営費の一部支援により大会を誘致する。					eスポーツを新たな滞在型観光コンテンツに！ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 協議会の設置・運営、大会誘致活動等（委託料） 23,000千円 誘致活動、開催支援（補助） 52,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（観光収入）（+876億円） ②支援イベントにおける集客数（+1万9千人） ③協議会への参画会員数（+21者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/ken-sei/shisaku/1014211/1014216/index.html

事業概要：「共同売店」を中心とした地域づくり事業

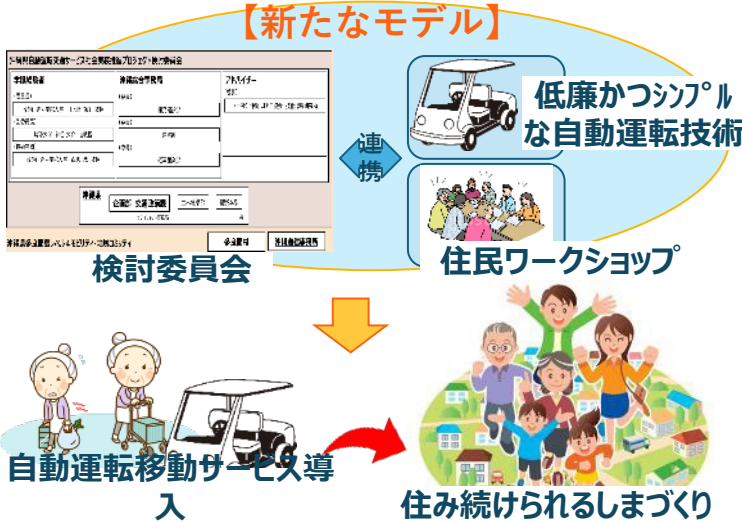
継続

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	66,500千円 (29,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	離島・過疎地域における集落拠点の一つである「共同売店」を地域運営組織として再形成することで、地域課題の解決に向けた官民連携による取組み体制を構築するとともに、住民満足度の高い住みよい地域づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域集落の拠点の一つである「共同売店」を地域運営組織として再形成し、地域住民を中心とした持続的な課題解決のための取組みを進めるため、モデル地域を選定し、「共同売店」を中心とした地域の将来ビジョンの策定及び事業再興・拡充に必要なITツールの導入、施設改装費、アルバイト人件費等「共同売店」等の拠点化及び体制構築に係る経費を補助する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・将来ビジョンの策定及び実践体制整備（補助金）29,500千円						
主なKPI	①支援地区の住民流出者数（0人） ②将来ビジョンを策定した地域（+4地域） ③地域運営組織を形成した地域（+4地域） ④シンポジウムの参加者数（+150人） ⑤地域運営組織の活動に対する住民満足度（+80%）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/ken-sei/shisaku/1014211/1014216/1037298.html

事業概要：ネイチャーポジティブに資する世界遺産道路空間整備事業

継続

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	200,000千円 (24,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	絶滅危惧種をはじめとした野生生物のロードキルを防止し、生物にふさわしい環境となる社会資本整備を行うことで、沖縄特有の貴重な生物を保護し、沖縄島北部等の世界自然遺産としての付加価値向上を図る。 野生動物の交通事故発生状況をモニタリングし要因を分析、適切な保安全管理にむけた対策を行うことで、観光客をはじめとした道路利用者による自然環境への負荷を低減する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 沖縄島北部等の世界自然遺産地域において、絶滅危惧種をはじめとした野生生物のロードキルを防止するため、道路施設の整備（路面標示、防草対策、片側勾配側溝等）と、野生生物の保護に関する広報活動、ロードキル発生状況のモニタリング等のソフト事業を組み合わせ、持続可能な自然環境保全と観光振興の両立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 24,000千円 ・野生生物の保護に関する広報活動 ・保護活動に関する説明会 ・保護柵の補修、除草を組み合わせたモニターツアー等の実施 ・野生動物の確認等のためのモニタリングの実施						
主なKPI	①沖縄県における観光収入（+2,180億円） ②野生生物（ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ）の事故件数の減少させる（▲3匹/年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/shisaku/1014211/1014216/index.html

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	260,924千円 (114,956千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	高齢化・過疎化が進む地域において、高齢者等の移動支援、地域の活動支援を目的とした持続可能な公共交通サービスを“低廉かつシンプル”な自動運転により実現する。 自動運転移動サービスの導入により、誰もが安心して住み続けられる環境を整備する。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 “低廉かつシンプル”な自動運転車両・システムの実証実験と、地元自治体と住民によるルールづくり・合意形成のためワークショップ等の実施に加え、自動運転サービス提供に向け、路面表示や停留所整備等を実施する。 運転手不足の中にあっても持続可能な公共交通サービスの提供と集落内の新たな移動サービスにより人の流れを増大し、住民だけでなく観光客等交流人口の増大の実現につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1) 低廉かつシンプルな自動運転の実証実験 (委託料:101,143千円) 2) 住民参加型のワークショップ(委託料:6,136千円) 3) 停留所設置・路面表示等(負担金:7,677千円)						
主なKPI	①人口減少の鈍化 (+0.3%) ②新たな自動運転サービスの利用者数 (23,360人) ③高齢者の外出機会の増加 (+15%)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/ken-sei/shisaku/1014211/1014216/1037298.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

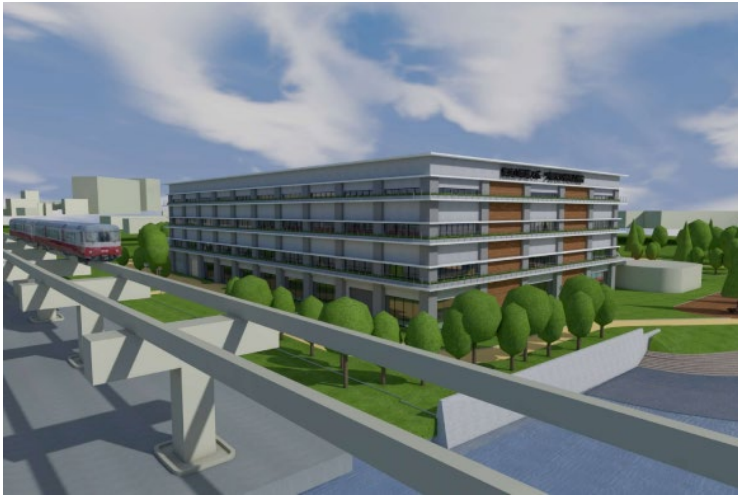
事業概要：外国人材受入企業日本語学習支援事業

新規

申請者	沖縄県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,830千円 (9,610千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・外国人材の受入に係るコミュニケーションへの懸念や日本語学習機会の提供に関する負担が軽減されることで、積極的な受入につながり、人手不足の解消に寄与する。 ・また、現場における安全ルールの遵守や複雑な業務指示の理解が深まることで、現場全体の労働生産性が高まるとともに、日本人社員とのコミュニケーションを円滑にすることで、職場での孤立化を防ぎ、働く満足度を高め、定着率の向上が図られる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県では、令和6年度から交付金を活用し、外国人雇用に係る企業向け相談窓口、各種セミナーの開催、企業と留学生とのマッチングイベントなど、外国人材の採用に向けた取り組みを実施している。 本事業では、採用後の定着支援として、人手不足の影響により、外国人材への日本語学習機会の提供が難しい企業に対し、日本語学習eラーニングシステム等の利用環境を提供し、企業における円滑な就労継続を支援する。 これにより、雇用の入口（相談・採用・就労）に係る既存事業と、採用後の定着に向けた本事業を連動させ、切れ目のない包括的な支援体制を構築するとともに、事業全体の相乗効果を高める。					【雇用の入口から定着までを包括的に支援】 既存交付金事業 (雇用の入口) ○企業向け相談窓口の設置 ○各種セミナーの開催 ○県内企業と留学生とのマッチングイベント 【効果】 企業の外国人雇用促進 連動 本事業（定着） ○日本語学習支援 【効果】 企業における外国人材の就労継続・定着支援	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・外国人材受入企業に対する日本語学習のためのeラーニングシステム等の利用環境提供支援（委託料）9,610千円					切れ目のない支援体制の構築／事業全体の相乗効果向上	
主なKPI	①外国人雇用事業所数（+945事業所） ②県内における特定技能2号労働者数（+75人）					URL	https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shisaku/1014211/1014216/index.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	沖縄県那覇市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	478,304千円 (2,945千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 多目的屋内運動場を核としたスポーツ・イベント開催環境の高度化により、天候や気候条件に左右されない安定的なプロ野球キャンプ、スポーツ大会、各種イベントの開催を可能とする。 - 通年型のスポーツ・イベント開催を通じて、市内滞在時間の延長及び観光消費額の増加を図る。 - イベント広場や屋外トイレ等の周辺環境整備と一体的に活用することで、来訪者の回遊・滞留を促進し、宿泊業、飲食業、交通事業等の地場産業への経済波及を高め、地域経済の持続的な成長につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、奥武山エリアにおいて、多目的屋内運動場を核としたスポーツ・観光交流拠点の機能強化を図る。 多目的屋内運動場への空調設備整備により、猛暑日や雨天時においても、プロ野球キャンプやスポーツ大会、各種イベントを通年かつ安定的に開催できる環境を整備する。 あわせて、屋外イベント広場の整備及び屋外トイレの機能高度化（洋式化、女性用トイレの増設、バリアフリー対応等）を行い、来訪者が滞留・回遊しやすい利用環境を整える。 これにより、イベント開催を契機とした交流人口の拡大、滞在時間の延長及び観光消費額の増加を図り、地域経済への波及効果を高める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・多目的屋内運動場整備（イベント広場・屋外トイレ・空調・備品等） 2,945千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 市内平均宿泊数の増加率（+17%） ② 観光客1人当たりの市内消費額の増加率（+8.5%） ③ 多目的屋内運動場及びイベント広場の年間利用者数（+12,000人） ④ スポーツ大会・イベント等の年間開催件数（MICE）（+6件） ⑤ プロ野球キャンプ・合宿等の実施日数（+5日） ⑥ 住み心地が良いと感じる市民の割合（+16%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

申請者	沖縄県石垣市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	71,889千円 (52,377千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	石垣基隆定期航路フェリー就航を契機とした、石垣島産品の国内外の販路開拓に必要な支援や、農業者育成、創業企業支援を行い、自ら販路開拓を行うことのできる事業者を育成し、石垣島産品の国内外への出荷数増加へつなげ、地域の持続的な活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 石垣島産品の国内外でのPRや販路開拓に関する支援を一体的に行い、本市からの輸出入を増やすことを目的に、石垣港や石垣空港を活用した輸出入促進事業を実施し、事業者が自ら国内外へ販路開拓を行うことを目指す。 創業起業支援では、地域課題をチャンスと捉え、新たに起業する者を増やすことを目的に、アクセラレーションプログラムやピッチコンテスト等を実施し、地域に根差した起業家を育成する。					国内外への出荷数増加  石垣島産品のPR  販路開拓支援  農業技術者交流セミナー 創業起業支援事業修など	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・石垣島産品の販路拡大支援事業 -石垣市国際農業交流・発展支援事業（委託費）4,800千円 -水産物販路拡大支援事業（委託費）6,670千円 -発酵食品地産地消フェスタ（委託費）3,993千円 -窯業販路開拓支援事業（委託費）12,406千円 ・輸出機会増大・輸入促進事業（委託料）14,752千円 ・石垣市創業起業支援事業（委託料）9,756千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①支援事業による輸出入件数（+77件） ②石垣市国際農業交流・発展支援事業受講者数（+10件） ③水産加工品年間取扱高（+2,320kg） ④支援事業による商談機会創出数（+15件） ⑤支援事業による年間起業家育成数（+30人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/index.html

事業概要：地域資源活用・交流促進による関係人口創出事業

新規

申請者	沖縄県石垣市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,000千円 (15,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 本市の自然・歴史・文化の価値を高め、学びと体験を伴う質の高い観光を推進し、地域への理解と愛着を持つ関係人口創出を図る。 - 一過性の来訪にとどまらない人的ネットワークを構築し、将来的な再訪や多様な関与につながる関係人口の基盤形成を目指す。 - 滞在型・回遊型観光を促進し、繰り返し訪れる動機を創出することで、観光客を関係人口へ転換し、持続可能な地域活力の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光ガイド育成、サイクルロード整備及びサイクリングイベントを通じて、地域資源の価値向上と交流促進を図り、「関係人口の創出・拡大」による地域活性化を推進する。学びや体験、交流を伴う滞在型・回遊型観光を促進し、一過性の来訪に依存しない、継続的な人と地域のつながりを基盤とした持続可能な地域活力の向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・サイクルロード活かした地域活性化に向けた環境整備（委託料等）9,000千円 ・観光ガイド育成（委託料）6,000千円						
主なKPI	①人口の社会増減（+150人） ②入域観光客数（+3万人） ③入域観光客消費推計額（+30億円） ④観光ガイド年間認定者数（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/furusato_sousei/11/9589.html

申請者	沖縄県豊見城市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	204,380千円 (15,400千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 民間商業施設に子育て拠点となる屋内遊戯施設を展開し、子どもの健全育成と子育て環境の充実により、本市に住む子育て世帯の増加・人口動態の改善・経済成長の実現につなげる。 - 民間施設を活用し、行政コストの削減、市民サービスの向上、空き店舗抑制による民間施設や地域経済の活性化、観光振興、雇用の安定や地域コミュニティの形成、エリア価値の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 屋内遊戯施設の整備を通じて、子どもの居場所不足や運動不足、非認知能力育成といった多岐にわたる課題解決を目指す。子育て世帯の定住促進、体力向上、社会性や協調性の育成を通じて、子どもたちの健やかな成長を支援する。 また、既存民間施設の活用で行政コストを削減し、公民連携による持続可能な施設運営モデルを確立する。空き店舗対策として民間施設を活性化させ、地域コミュニティの交流促進とエリア価値向上に貢献し、観光振興も図りながら、地域経済の活性化と地域全体の持続可能な発展を多角的に支援する。					【AIにより作成した施設イメージ】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計業務 子育て拠点として屋内遊戯施設整備（民間所有施設の一部を改修）15,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+2,123人） ②屋内遊戯施設の利用者数（+337,700人） ③観光地点等入込客数（+16万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

事業概要：南城市まちづくり交流拠点施設整備事業

継続

申請者	沖縄県南城市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,033,000千円 (1,945,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・学びの拠点（本を買う・借りる・閲覧できる）を公民連携で整備し新たな体験を提供することで生産年齢人口の増加を図る。 ・こどもの遊び場を整備し、子どもの健全な成長と子育て世代の交流・相談の場を整備し若年女性の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子どもから高齢者までの多世代がより良く生きるための知恵と健康を共に育み、共に育つため、多世代の活動が交わり合う豊かな「共育空間」を整備し、そこで教育・健康増進の支援を行い誰もが健康で幸福に過ごすことができる社会の実現を図る「学びの拠点」「健康の拠点」を備えた拠点整備を行う。 長く続く運営期間を重視し、運営事業者を先に選定する事業パートナー方式にて、事業の構想から設計、建設、運営までを共にデザインしていくことで持続可能なサービス提供を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事（新築） 1,912,000千円 ○ソフト事業 ・開業前準備業務 33,000千円 -地域ネットワーク事業 -広報・PR・イベントに関する事業 -人材確保・教育に関する事業						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+1,320人） ②合計特殊出生率（+0.07人） ③施設利用者数（+110,000人） ④こどもの遊び場利用者数（+50,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

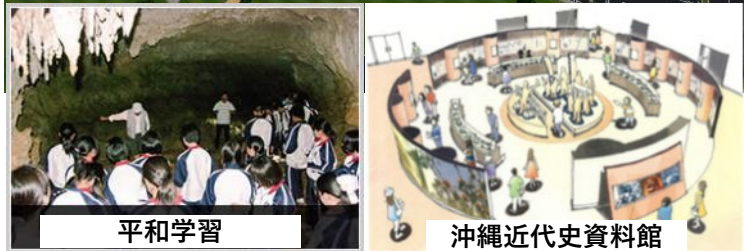
事業概要：南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業

継続

申請者	沖縄県南城市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,043,861千円 (72,914千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	高品質食材の生産・販売、滞在型観光との連携、居住環境の整備により、農畜水産物の価値を向上し、人材を引き寄せ、地域産業を元気にする。南沖縄市場（商業）、ワーカーズハウス（住まい）、レジデンシャルホテル（滞在）の複合機能により市民、生産者、観光客、訪問客の交流を生み出す。農畜水産業体験を通じたライフスタイルを通して観光客が次第に長期滞在者や移住者へと変わるきっかけをつくり、定住促進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 コンセプトを「ファーマーズシティ南城」とし、住宅、商業施設、ホテル、公共空間が混在する土地利用を促進し、日常生活と仕事の間が近接することで、住民がその地域で暮らし、遊び、働きやすい環境を整備する。本事業は、南沖縄市場（ファーマーズマーケット、専門店街、食材研究所）、及び第一次産業従事関係者を対象としたワーカーズハウス、レジデンシャルホテルの整備し、第一次産業の活性化を地域の「稼ぐ力」の向上につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・農畜水産物利用促進拠点整備における生産者へのPR、市場調査、独自ブランドの立上げ等を実施する。 ・事業誘導業務 13,514千円 ○拠点整備事業 ・実施設計 59,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業参画生産者数（+200生産者） ②ファーマーズマーケット運営に関わる従業員数（+40名） ③ワーカーズハウスの入居者数（+30室） ④南沖縄市場集客数（+60万人） ⑤入域観光客数（+70万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

事業概要：生涯学習・文化振興拠点施設整備事業

継続

申請者	沖縄県八重瀬町						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,258,395千円 (1,985,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	東風平運動公園内に生涯学習・文化振興拠点施設を整備することで県内ではまだない近代史資料館の整備により観光客の誘致、地域の小・中・高校生への学習コンテンツの追加、また多様な参画を行うことにより町内各地へ経済波及効果をもたらす拠点施設とする。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、生涯学習機能とともに「近代史資料館」を併設し、沖縄近代史についても学ぶ場を提供するとともに、スポーツを通じた文化交流やスポーツキャンプや八重瀬町に訪れる観光客と町民の交流にもつながり観光振興が期待でき、近年で成長し続けているeスポーツを活用した施策により、青少年の健全育成や障がい者のリハビリテーションなど、教育・福祉分野にも活用する。地域外からの交流人口の拡大を推進するイベントや大会を誘致し、3D映像・VR技術を駆使した修学旅行向けバーチャルツアーなど、多様なコンテンツ提供によって集客力を高め、観光振興や地域経済への波及効果が図る。						  平和学習 沖縄近代史資料館	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 東風平運動公園内に生涯学習・文化振興拠点施設整備 ・集会所機能部分多目的ホール関連（工事費）1,985,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口の増加（+332人） ②生涯学習・文化振興拠点施設への修学旅行者等を含む町外からの来館者数（+35,000人） ③スポーツ関連イベントへの参加人数（+1,200人） ③3D映像・VRツアー参加人数（+9,000人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定